

# 北海道教育委員会が進める 新しい縄文学習の教材活用について



渡島教育局教育支援課  
令和5年2月6日（月）

# 未来に引き継いでいくために～道教委の取組～

## 縄文時代に学ぶ・世界遺産を活用した次世代育成事業

### 趣旨

教員が活用しやすい学習教材・授業メニューを開発するとともに、外部専門家による出前授業等を実施することにより、世界遺産を活かしたふるさと教育を推進

## 教材等の開発

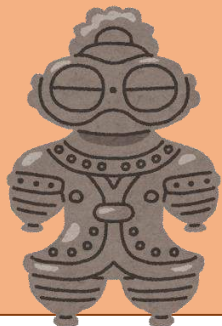
### 学習教材

縄文遺跡の学習で活用できる教材を作成

- ・ 3Dデジタル教材
- ・ 集落の様子が分かる地図
- ・ 集落の解説動画 など

### 指導プログラム

小・中学校の社会科・総合的な学習の時間の指導プログラム4本を作成  
⇒「北海道ふるさと教育指導プログラム」に追加



関係機関や教員からの意見を基に改善・充実を図り、  
**令和4年度内に完成予定**

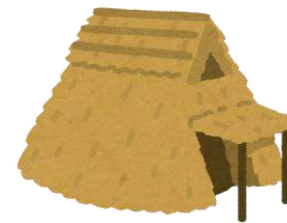
## 学習教材

縄文遺跡の学習で活用できる教材

- ・ 3Dデジタル教材
- ・ 集落の様子が分かる地図
- ・ 集落の解説動画 など



Webに掲載し、  
授業、学習等、いつでも、  
どこでも活用可能



北黄金貝塚VRツアーデータ <https://koo-lab.com/vrtour/kitakogane/index.html>

鯨骨製骨刀 <https://sketchfab.com/3d-models/4004b3a226e94c1094abcdca98b9b24b>

鯨骨製匙型製品 <https://sketchfab.com/3d-models/c16a57cf45b24cb4a8161ee17867def4>

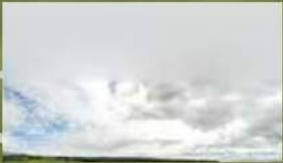


世界遺産

北海道・北東北の縄文遺跡群

きた こ がね かい づか

# 北黄金貝塚 VRツアー



上空から見てみる



世界遺産

北海道・北東北の縄文遺跡群

きた こ がね かい づか

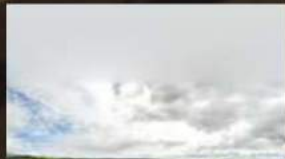
# 北黄金貝塚 VRツアー



上空から見てみる

世界遺産  
北海道・北東北の縄文遺跡群

きた こ がね かい づか  
北黄金貝塚 VRツアー



上空から見てみる











## 指導プログラム

### 趣旨

教師が使いやすい授業メニューを開発し、「北海道ふるさと教育指導プログラム」の追補版を作成することにより、世界文化遺産を活かしたふるさと教育を推進する。

### 構成

小学校社会科 「国づくりへの歩み」  
小学校総合的な学習の時間  
「『縄文時代の謎』を解き明かせ！～北海道の魅力再発見～」  
中学校社会科 「古代までの日本(イ)日本列島における国家形成」  
中学校総合的な学習の時間 「世界遺産・縄文知名度UP大作戦」

### 特徴

- 児童生徒の思考の流れを想定して例示。
- 文化財・博物館課が作成した3Dデータ等の活用場面を記載。
- 北海道・北東北の縄文遺跡群だけでなく、自分たちの身近な地域の縄文遺跡の活用も想定。
- 指導プログラムをそのまま活用、プログラムの一部を抜粋しての活用など、児童生徒や学校の実態に応じて、児童生徒が北海道について理解を深め、ふるさとに対する愛着や誇りを育むことができるよう構成を工夫。

# 縄文時代に学ぶ・世界遺産を活用した次世代育成事業

## 指導プログラム

## 中学校第1～3学年 総合的な学習の時間

### 単元の課題

- ・地域の縄文遺跡の知名度を上げるために、自分たちに何ができるかを考えよう！（第1次）
- ・地域の縄文遺跡の知名度を上げるために、効果的な発信方法を考え、実行しよう！（第2次）

### 単元の探究過程

#### 《課題の設定》

既習の知識や資料・講話などを通して、地域にある遺跡の価値と問題を見出す。

#### 《情報の収集》

生徒自身が立てた課題解決計画に基づいて、遺跡や関連施設、地域住民などを対象に、情報の収集と整理・分析を、段階的に繰り返す。

#### 《整理・分析》

【ポイント】課題解決に向けてより深く追究していくために、「発信方法」に着目させて、課題を更新できるようにする。

#### 《課題の設定》

遺跡の知名度を上げるために効果的な発信方法について考える。

#### 《情報の収集》

発信対象に着目し、遺跡についての価値を効果的に発信できる方法を検討・実行する。

#### 《まとめ・表現》

単元を通して気付いたことや今後の展望について交流する。

### 活用する教材

- ・右写真の遺跡についてのバーチャルツアーデータや出土品の3Dデータを活用することで、遺跡の全体像を見たり、出土品の細部のつくりや形などを調べたりすることにより、縄文時代の人々のくらしの様子や、技術力の高さについて気付かせる。



【函館市大船遺跡】

### 学校や生徒の実態に応じた活用例

- ・まとまった時間が確保できない場合、扱う資料や発信対象を精選することや、第1次と第2次を分けて、別の時期に行うことが考えられる。
- ・身近に縄文遺跡や関連施設がない場合は、関連資料や3D教材、Web会議システムによる講師との対話など、資料や人材と繰り返し関わることを通して、縄文遺跡や文化について具体的なイメージをもたせ、生徒の思考を深めることができるようにする。



# 未来に引き継いでいくために～道教委の取組～

## 縄文時代に学ぶ・世界遺産を活用した次世代育成事業

### 趣旨

教員が活用しやすい学習教材・授業メニューを開発するとともに、外部専門家による出前授業等を実施することにより、世界遺産を活かしたふるさと教育を推進

## 教材等の開発

### 学習教材

縄文遺跡の学習で活用できる教材を作成

- ・ 3Dデジタル教材
- ・ 集落の様子が分かる地図
- ・ 集落の解説動画 など

### 指導プログラム

小・中学校の社会科・総合的な学習の時間の指導プログラム4本を作成  
⇒「北海道ふるさと教育指導プログラム」に追加

関係機関や教員からの意見を基に改善・充実を図り、  
**令和4年度内に完成予定**

